

全国初，レモンの新樹形 ‘アーチ仕立て法’を現地で実証



～ 現地実証園の初出荷で早期多収を達成 ～

研究期間 | 平成23～27年度[開発研究, 成果移転事業]

技術支援のきっかけ

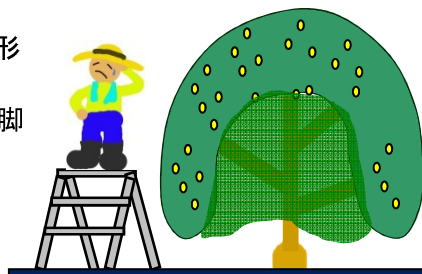
- ◆ 広島県は全国1位のレモン産地ですが、①樹高が高く栽培管理が難しい、②苗木を定植してから十分な収量が得られるまで6～8年かかることが課題です。
- ◆ 農業技術センターは、レモンの低樹高化と早期多収を両立できる‘アーチ仕立て法’を開発し、平成25年から現地実証試験を進めています。

技術支援の内容

- ◆ 尾道市瀬戸田町のレモンの‘アーチ仕立て法’の現地実証園(ハウス14a)では、定植3年目となる平成27年9月から初収穫となりました。
- ◆ 10a当たり収量は4tで、従来法の開心自然形と比べ1.7倍を超えました。
- ◆ 実証園主からは、「ほとんどの作業で脚立が不要で地面に立って作業できる。アーチ下の空間に通路が確保でき、運搬作業が楽だ。」との声が聞かれました。

従来法の開心自然形

樹高が高く、危険な脚立作業が必要



新樹形‘アーチ仕立て法’

樹高が低く、アーチ下に作業通路も確保できる。



現地実証園の定植3年目の着果状況
(尾道市瀬戸田町)
アーチ支柱から垂れ下がった枝に鈴成りに着果している様子

技術支援の活用場面

- ◆ 現在、露地栽培でも6aで現地実証試験を進めています。
- ◆ アーチ棚を設置する経費は45万円/10aです。今後、更に支柱構造の改良による低コスト化をはかり、技術の普及につなげます。

問い合わせ先 | 農業技術センター 技術支援部 | TEL 082-429-0522